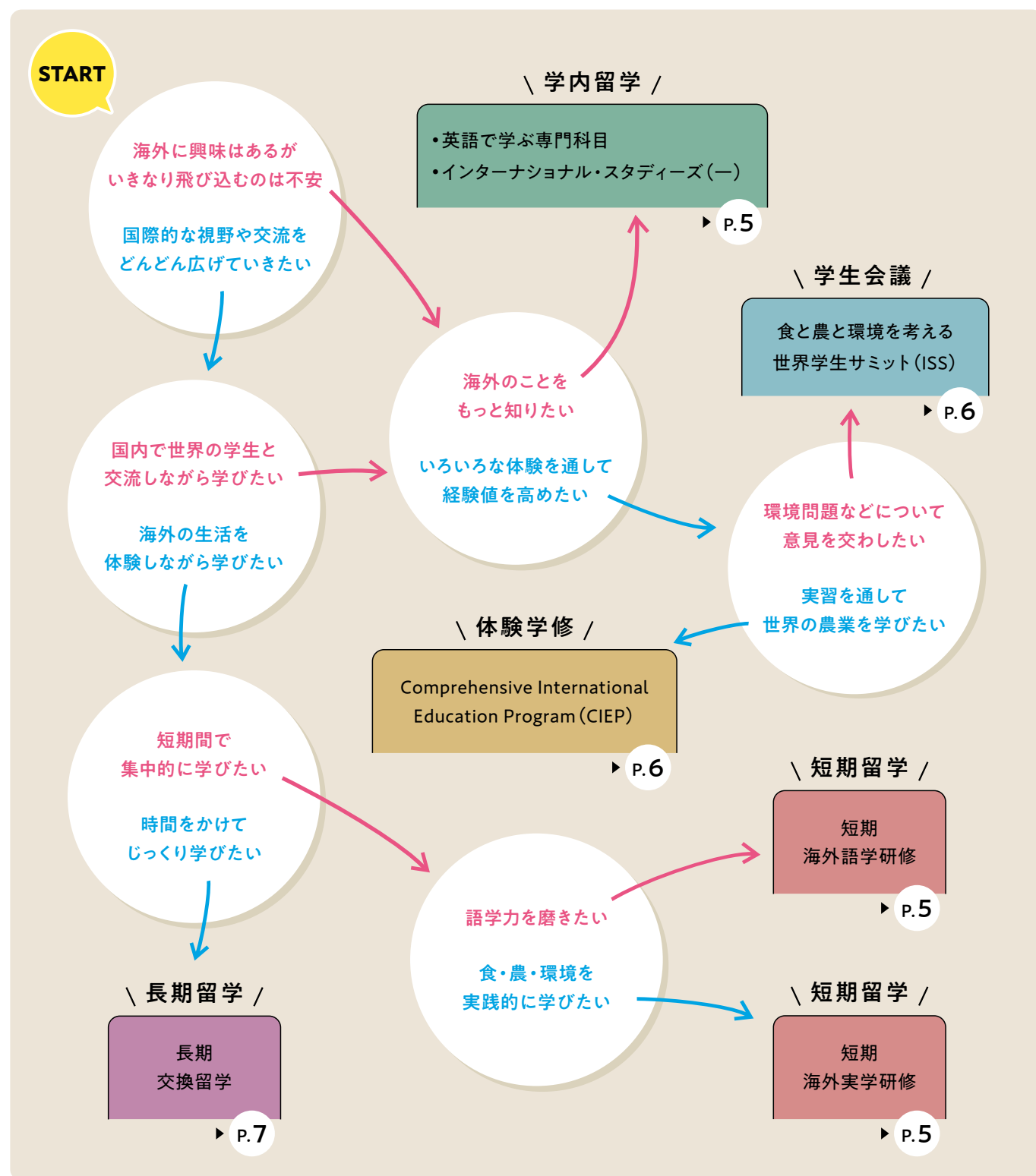


＼あなたにぴったりのプログラムを見つけてみよう！／
留学プログラムおすすめ診断チャート



TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE
東京農業大学

【世田谷キャンパス】
 グローバル連携センター

【厚木キャンパス】
 学生教務課

【北海道オホーツクキャンパス】
 学生教務課

国際交流に関する情報を
 キャッチしよう！

グローバル連携センターに
 相談しよう



Email: shogaku@nodai.ac.jp
 世田谷キャンパスアカデミアセンター2F
 農大HP: <https://www.nodai.ac.jp/cip/>

国際プログラムに関する
 最新情報配信中

グローバル連携センター
 公式LINE



グローバル連携センター
 公式Instagram



農大

TOKYO UNIVERSITY OF
 AGRICULTURE

2025



未来の私は、
 私がつくる！

留学プログラム案内

GLOBAL PROGRAM

はじめに

グローバル連携センター（Center for Global Initiatives：CGI）では、グローバル人材として必要な語学力や、異なる文化でも柔軟に対応できる力を身につけることができるように、様々なプログラムを提供しています。また、日本人と外国人留学生在が円滑にコミュニケーションを取れるよう、交流イベントを企画しています。常にアンテナを張り、各種イベントに参加して「語学×農大ならではの専門性」を深めましょう。



【開室時間】月曜～金曜 8：30～17：00

農大の留学プログラムの魅力

1

語学力・異文化理解の向上だけでなく、食・農・環境分野の海外実習ができる！

2

世界各国の農学系大学で専門分野を深めることができる！

3

交換留学では授業料減免制度により、コストを抑えて長期留学が可能！

留学計画をつくろう

ステップ1

情報収集

学科の履修スケジュールを確認し、在学中いつ留学したいか、どの国に、どれくらいの期間行ってみたいかなど、やりたいことを計画してみよう。必要な語学力、成績、費用はどのくらいか、学内出願・選考時期がいつなのか確認しましょう。

ステップ2

留学準備

学科の指導教員や家族に相談し、留学時期と参加プログラムを決めよう。長期留学については、成績・語学スコア等の出願要件があるため、早めに準備を開始することが大切です。

ステップ3

学内手続き

プログラムごとに実施期間や出願時期が異なるため、学生ポータルやCGI公式LINEをこまめに確認しましょう。

ステップ4

留学出発

短期プログラムは2週間～1か月間程度、長期留学では半年間または1年間の留学が可能です！

留学プログラム年間スケジュール （2025年4月1日現在）

プログラム		2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	
グローバル教育科目		前学期（8 科目）						後学期（11 科目）						
短期海外語学研修・ 短期海外実学研修		4/16 説明会	申込期間 （夏期）				夏期プログラム 2～4週間		夏期 帰国報告会	11/7 説明会	申込期間 （春期）		春期プログラム 2～4週間	
世界学生サミット (ISS)					7/7 プレサミット		9/3～6 ISS本番					説明会	選考会	
CIEP		4/18 説明会	申請受付			CIEP （オホーツクコース）	CIEP （フィリピンコース）							
海外協定校 長期派遣	前学期 出発		5/26 説明会		募集案内	申請受付	選考会	選考 結果通知	渡航準備・オリエンテーション～翌春出発					
	後学期 出発							9/26 説明会		11/10 説明会	募集 案内	申請受付	選考会	選考 結果通知
各種プログラム		4/25 留学 報告会	留学 フェア	4/23 田 4/25 田 4/28 田	タイ 短期 受入	台湾 短期 受入			夏期短期 帰国報告会		長期留学 報告会			

※日程は変更となる可能性があります。
上記以外にも様々なプログラムを実施しています。CGI公式LINEに登録して、最新情報を入手しましょう！

学内国際交流プログラム

国内にしながら国際交流・異文化体験ができるイベント等を定期的の実施しています。

留学フェア



農大の留学プログラムについて幅広く知り、参加者の体験談を聞くことができるイベントです。2025年度は、4月23日（厚木）、4月25日（世田谷）、4月28日（オホーツク）に開催します。

Global Café



留學生とAll Englishで交流するEnglish Café、留學生による母国紹介や協定校紹介など、さまざまな国際交流イベントを開催しています。

グローバルサポーター

日本語を勉強したい留學生の言語サポート、新入留學生・交換留學生の生活サポートなど、留學生と農大生が交流するきっかけとなる各種ボランティアを募集しています。



短期受入プログラム

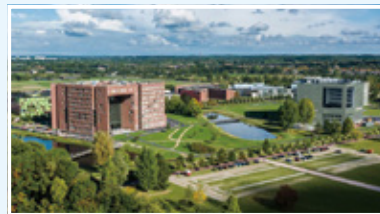
海外協定校（タイ・台湾等）から学生グループを受け入れて、交流プログラムを実施しています。



海外協定校44校、世界32カ国・地域へ はばたく学生を応援します。

10 ワーヘニンゲン大学 (オランダ)

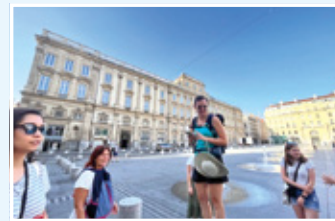
農業や食品科学分野での研究で国際的に高く評価されている大学で、多様なコースから授業を選択することができます。



動物 バイオ 開発

13 ISARA (フランス)

フランスの農業省が承認する、農業、食品、環境の持続可能性を専門的に学べる大学です。専門コースに所属し、実践的なプロジェクトやグループワークが組み込まれた参加型の授業が特徴です。



栄養 創成

23 国立中興大学 (台湾)

台湾で最も歴史ある国立総合大学で、台湾の農業技術研究をリードしています。長年にわたって短期派遣・受入プログラムも実施しています。



栄養 バイオ 開発 食農

44 ジョモケニヤッタ農工大学 (ケニア)

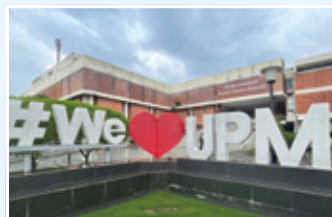
アフリカ全域の科学技術革新を担う農学系大学です。農大とは2020~2024年まで、文部科学省の世界展開力強化事業を実施し、多くの学生交流が実現しました。



創成 開発 食農

37 マレーシアプトラ大学 (マレーシア)

農学部は国内トップクラスであり、環境分野、持続可能な農業技術の開発や、食糧安全保障に関する研究が高く評価されています。



資源 化学 バイオ 生化学 微生物 開発
ビジネス 食農

38 IPB 大学 (インドネシア)

熱帯農業と生命科学に特化した農科大学として世界的に評価されている大学です。2025年度はIPB大学で世界学生サミットを実施予定となっています。



開発 ビジネス 食農

26 フィリピン大学ロスバニオス校 (フィリピン)

農業における教育と研究の中心地で、特に熱帯農業研究と農業経済学で優れたカリキュラムと国際的な評価があります。キャンパス付近には国際稲研究所 (IRRI) があります。



開発 ビジネス 北農

海外協定校一覧

国/地域	大学名	長期交換留学※
北米	カナダ 1 ブリティッシュコロンビア大学	★
	アメリカ 2 ミシガン州立大学	○
	アメリカ 3 カリフォルニア大学デイビス校	○
中南米	メキシコ 4 チャビンゴ自治大学	★
	ブラジル 5 サンパウロ大学	★
	ブラジル 6 アマゾン農業大学	○
ヨーロッパ	ペルー 7 ラ・モリーナ国立農業大学	★
	イギリス 8 レディング大学	○
	イギリス 9 ハイランズ・アンド・アイランズ大学	○
ヨーロッパ	オランダ 10 ワーヘニンゲン大学	★
	フランス 11 リール農業高等学院	★
	フランス 12 アンジェ農業高等学院	★
ヨーロッパ	フランス 13 ローヌ・アルプス農業栄養高等学院 (ISARA)	★
	フランス 14 ブルバン技術学院	★
	フランス 15 ボーベ・ラサール・ポリテクニク学院	★
ヨーロッパ	トルコ 16 オンドクズ マユス大学	○
	ウクライナ 17 国立生命環境科学大学	○
	ボスニア・ヘルツェゴビナ 18 東サラエボ大学	○
ヨーロッパ	ロシア 19 極東連邦大学	○
	ロシア 20 ロシア連邦沿海州農業アカデミー	○
アジア	中国 21 中国農業大学	★
	中国 22 上海交通大学	○
	台湾 23 国立中興大学	★
アジア	韓国 24 国立慶北大学	★
	韓国 25 国立江原大学	★
	フィリピン 26 フィリピン大学ロスバニオス校	★
アジア	ベトナム 27 ベトナム国立農業大学	★
	カンボジア 28 王立農業大学	○
	ラオス 29 ラオス国立大学	○
アジア	タイ 30 カセサート大学	★
	タイ 31 タマサート大学	○
	ミャンマー 32 イエジン農科大学	○
アジア	ネパール 33 ネパール農林業大学	○
	スリランカ 34 ペラデニア大学	○
	インド 35 ハリヤナ農業大学	○
アジア	モンゴル 36 モンゴル生命科学大学	○
	マレーシア 37 マレーシアプトラ大学	★
	インドネシア 38 IPB大学 (旧ボゴール農科大学)	★
オセアニア	オーストラリア 39 西オーストラリア大学	○
	オーストラリア 40 西シドニー大学	○
中東	イスラエル 41 ヘブライ大学	○
	ジブチ 42 ジブチ大学	○
	タンザニア 43 ソコイネ農業大学	○
アフリカ	ケニア 44 ジョモケニヤッタ農工大学	★

※最新情報については農大HPをご確認ください。
★印のついている学校は、長期交換留学時に留学先授業料が免除される大学です。
○印のついている学校は、近年派遣実績がないため、長期交換留学を希望する場合は必ず余裕をもって事前にご相談ください。

留学プログラム紹介

学内留学

グローバル
教育科目

英語で学ぶ専門科目

グローバル化時代において国際的に活躍し、社会に貢献できる人材を目指し、留学生や協定校学生の履修者と共に、食・農・環境についての基礎知識を英語で学ぶ科目です。英語で理解し、意見を発信する力を身に付けます。

言語

英語

(全学共通科目／前・後学期開講科目)

グローバル教育科目英語開講科目一覧

前学期開講科目

- Environment and Agriculture
- Forest and Forestry
- Food and Health 1
- Planning and Design of Landscape Architecture
- Introduction to Bioindustry (オホーツク)
- Agriculture and Economic Development
- Introduction to Japanese Linguistics
- Plants for Landscape Architecture

後学期開講科目

- Agroecology and Food Production
- Agro-Environmental Engineering
- Ecology and Agricultural Production (厚木)
- Global Food Systems
- Food and Health 2
- Comparative Developing Agriculture
- Japanese Food Culture
- Molecular Biology and Biotechnology (3年次開講)
- Group Approach to Food and Environment
- Field Study of Food and Environment
- Sustainable Agriculture in Asia

学内留学

グローバル
教育科目

インターナショナル・スタディーズ(一)

世界の農業、食料問題をはじめ、社会、政治経済、文化について広い視野を持ち、理解を深める科目です。海外協定校のある国々を中心に、それらの国や地域の問題点と可能性を理解し、自国と世界の国々との協調の在り方を探ります。

言語

日本語(前学期開講科目)

学内留学

国際協力ワークショップ

国際協力機構(JICA)、国際機関やNGO、民間企業など、国際協力分野で活躍する方々を講師に招いて、農学・環境分野における国際協力人材を育成するためのワークショップを実施します。開催日程等の詳細は、学生ポータルや公式LINEで案内予定です。

就業体験

グローバルキャリア研修

学部1~2年

海外企業等での就業体験を行います。実際に海外で働くことを通じて、職業選択の幅を広げることを目的としています。

- 費用 約30~50万円
 - 期間 春休み3~4週間程度
 - 渡航先 オーストラリア／シドニー
 - 担当課 キャリアセンター
- 詳細は農大キャリアナビ「お知らせ」から確認してください。

短期留学

グローバル
教育科目

短期海外語学研修

学部1~4年 院生

海外協定校の語学プログラムで、集中的に英語を学びます。学生交流や専門講座が提供される場合もあります。

- 費用 約100万円
- 期間 夏休みまたは春休み3~4週間
- 渡航先 ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)
- 科目 インターナショナル・スタディーズ(二)

短期海外実学研修

学部1~4年 院生

海外協定校での学生交流、農村や農業関連施設の視察等を通じ、派遣国の食・農・環境について学びます。

- 費用 約20~60万円(派遣先により異なる)
- 期間 夏休みまたは春休み2~3週間
- 渡航先 マレーシアプトラ大学、カセサート大学、国立中興大学
- 科目 インターナショナル・スタディーズ(二)

学生会議(ISS)

グローバル
教育科目

食と農と環境を考える世界学生サミット(ISS)

学部1~4年 院生

世界中の海外協定校代表学生とともに、食・農・環境の問題についてディスカッションを行うプログラムです。

- 費用 航空券代金のみ
- 開催場所 IPB大学(インドネシア)
- 期間 2025年9月3~6日
- 科目 Group Approach to Food and Environment



ISSとは

第24回(2025年度)テーマ

「Youth-led innovations and community empowerment towards a sustainable future」

世界学生サミットは2001年11月に「新世紀の食と農と環境を考える世界学生サミット」をテーマとして本学の学生と海外協定校学生が世田谷キャンパスに参集し、人類が直面する深刻な諸問題に関する意見・情報交換および彼ら自身の役割について討論する国際会議として発足しました。2024年度世界学生サミットは、世界19カ国・地域、21大学を代表する発表者29名と、学生座長16名が世田谷キャンパスに集結し、持続可能な社会の実現に向け自らがとれるアクションについて、「食、農、環境、教育、栄養」を切り口に議論を行いました。2025年度世界学生サミットは、9月3~6日に協定校であるIPB大学(インドネシア)にて開催予定です。

ISS体験談



Presenter

国際食料情報学部
国際農業開発学科
2年次参加

加藤 直樹さん

私自身のことを世界中の人に知ってもらいたい、と同時に、世界にはどんな学生がいるのかを知りたいと思い参加しました。世界の学生が環境問題や食・農についてどのような調査・研究を行っているかを知り、より広い観点で物事をとらえることを意識するように。私は英語が流暢なわけではありませんが、参加者の中で最も多くの人とコミュニケーションを取れた自信はあります。さまざまな背景を持った学生と会話し、短期間に世界中に友だちができたことは、人生におけるかけがえのない財産です。

Private Photo



▲ブラジルやケニアなどの留学生と、浅草や渋谷などの観光に行きました。



▲自分の研究室を紹介したりして、農大についてたくさんの交流をしました。

体験学修(CIEP)

グローバル
教育科目

Comprehensive International Education Program (CIEP)

学部1~4年

講義、フィールドスタディー、ワークショップによる集中プログラムです。海外協定校の学生と共に、日本・アジアの食・農・環境と地域開発について学びます。

- 費用 5~6万円程度
- 開催場所 ▶オホーツクコース
世田谷キャンパス、オホーツクキャンパス
▶フィリピンコース
フィリピン大学ロスバニオス校(フィリピン)
- 期間 オホーツクコース:2025年7月下旬~8月上旬
フィリピンコース:2025年9月中旬
- 科目 Field Study of Food and Environment / Sustainable Agriculture in Asia

CIEPとは

海外協定校の参加者と共に日本および世界の農業について英語で学ぶプログラムです。講義、フィールドトリップおよびグループワークで構成され、体験的な学修を通じて、多角的な視点から日本と世界の農業を理解できるようになっています。2024年度は、総勢29名(農大生18名、協定校留学生11名)の学生が参加しました。オホーツクコースでは、世田谷キャンパスでのワークショップと、オホーツクキャンパス近郊の実習地でのフィールドトリップを含めた、約10日間のプログラムを修了すると2科目4単位を修得することができます。



Chairperson

農学部
生物資源開発学科
2年次参加

澤井 優希さん

私が担当したのは、ケニアなど5カ国の国籍を持つプレゼンターが集まったグループ。当日を迎えるまで、繰り返しプレゼンの練習を行いより良くしていくのですが、座長として少しでも実用的なコメントをしたいと思い、毎回真剣に取り組み、終わるとヘトヘトになりました。自分の実力不足を思い知らされる日々でしたが、たくさんの方々に助けていただき活動を終えることができました。国籍を超えた新しい友人も得ることができ、これからの学生生活がさらに有意義なものになると感じています。

Private Photo



▲ISS本番が終了し、皆でパーティーをしたのが一番楽しかったです！



▲グループ討論の様子です。皆さんに助けってもらい、一連の活動を終えることができました。



※グローバル教育科目とは、全学共通の講義科目です。各科目の詳細は履修の手引きおよびシラバスをご確認ください。

長期留学

学部2～4年 院生

海外協定校長期派遣(交換留学)

世界32ヵ国・地域にある44校の海外協定校へ留学し、専門科目を学習することを目的とするプログラムです。この制度では、留学期間が本学の在籍期間に算入されるため、4年間で卒業が可能となります。また、留学先大学で修得した単位は、本学の卒業要件として単位認定することができます。

特徴

★ 留学中の本学学費は免除

★ 渡航準備金(航空費補助)の支給あり

★ 危機管理サポートサービスへの加入あり

※留学先大学の学費免除については、「海外協定校一覧」を確認してください。

留学期間 半年間または1年間

※前学期出発となる留学先は、韓国・オーストラリアのみです。

出願資格

- ① 派遣時に本学の学部2年生以上であること
出願時点で学部4年次の学生は、次年度に本学大学院へ進学予定の場合のみ出願可。
- ② 通算GPAが2.3以上かつ希望留学先のGPA要件を満たしていること
- ③ 希望留学先の語学要件を満たしていること
- ④ 保護者及び指導教員の同意を得ていること
- ⑤ 心身ともに留学に耐えられる健康状態であること
- ⑥ 留学費用の負担が可能であること

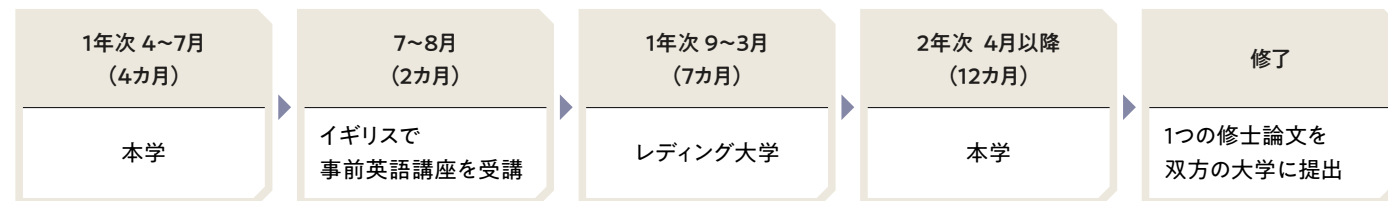
※希望する留学先の出願資格については、農大HPから最新情報を確認してください。

留学パターン	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
2年次 後学期 出発		出願		留学	留学	就活	就活	卒業		
3年次 前学期 出発			出願		留学	留学(就活)	就活	卒業		
3年次 後学期 出発				出願		留学(就活)	留学(就活)	卒業		
4年次 後学期 出発						出願	留学(就活)	留学(就活)	卒業	

交換留学以外の海外挑戦

●ダブルディグリー制度 院生

国際農業開発学専攻では、2年間で本学とレディング大学(イギリス)双方の学位を取得できるダブルディグリー・プログラムを実施しています。
※本学とレディング大学の双方に在籍するため、両大学の学費がかかります。



●JICA海外協力隊 院生

国際協力機構(JICA)と本学の連携により、在学中にJICA海外協力隊に参加することができます。

また、大学院博士前期課程では、長期履修制度を活用することで、在籍中にJICA海外協力隊に参加することが可能となります。

●長期海外学修活動 学部3・4年

海外で農業・農学分野に関連した体験的学習を行う学生に対し、休学期間中の学費減免措置及び単位修得が適用される制度です。

活動期間 半年間～1年間

対象科目 海外農業実習(一)(二)(三)

なや お悩みトークルーム

皆さんの悩みに
お答えします!



留学はしたいけれど、**金銭面**にあまり余裕がなくて…。

「日本学生支援機構(JASSO)による海外留学支援制度」がありますよ。これは、本学の海外協定校への長期留学希望者のみ申請可能です。なお、奨学金は留学先に応じ月額8～12万円(返済不要)を支給。留学中、本学の学費は免除となり、さらに派遣先大学の学費も免除になる場合があります。さらに、渡航準備金(アジア圏10万円、その他20万円)も支給されますよ。



語学にまだ自信がなくて、
留学先の授業についていけるか不安…。

まずは学内で開講されているグローバル教育科目で、農業・食料・環境の専門分野について、英語で学ぶ力をつけましょう。また長期留学を目指す方はTOEFL、IELTS、TOEICを受験し、留学希望大学の出願資格を満たすスコア取得を目指しましょう!一般受験よりも受験料が安価な団体受験で受けることもできます。



1年間長期交換留学をして、**4年間で卒業**したい…。

本学の長期留学制度での留学期間は、本学の在籍期間として算入されますので、4年間で卒業することが可能です。ただし、出願時の学年や修得単位数によって異なります。詳しくはグローバル連携センターおよび所属学科の教員へお問い合わせください。



海外や留学に興味はあるけど、
何から始めればいいのか分からない…。

まずは学内国際交流プログラムに参加し、農大にいる留学生と交流してみましょう!興味のある国・地域、協定校の学生から話を聞くことができるかもしれません。また同時に、TOEFLなどの語学テストを受験し、自分の語学力を知ることが第1ステップとなります。



VOICE & VOICE

短期海外語学研修



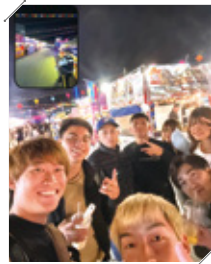
留学先
ブリティッシュコロンビア大学
(カナダ)
地域環境科学学部
生産環境工学科
2年次派遣
島田 大晟さん

日本語を話さない環境をつくるため、メキシコから来ている留学生と友だちになり、毎日英語だけで会話をするように努めました。また、休日には公園で練習しているサッカーチームに参加。その結果、最後の1週間は自分でもこれまでとの差を感じることができくらいに会話力が身につきました。一番の収穫は、帰国してから英語に触れようという意識が高まったことです。毎日海外のビデオブログを見たり、洋楽を聴いたりするようになりました。メキシコの友だちとも定期的に連絡を取り合っていて、メキシコ旅行を計画するつもりです。



Private Photo

留学先でできた友だちと、人生初のナイトマーケットに行きました。



◀ クラスメイトと。最後の1週間は、かなり会話ができるようになっていました。

島田さんの1日

9:00 授業。日本語を話さないよう、なるべくメキシコの友人と英語だけで会話をします。

12:30 仲の良いメキシコの友人と、楽しいランチの時間です。

13:30 授業。留学の目的だった、他国の生活や文化に触れることができました。

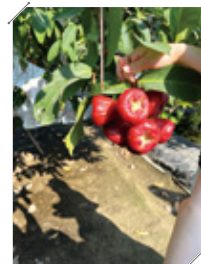
16:00 クラスの子と遊んだり、ホームステイ先の人と一緒に運動をしたりします。

短期海外実学研修



留学先
国立中興大学
(台湾)
応用生物科学部
食品安全健康学科
2年次派遣
荒川 春陽さん

2週間という短い期間でしたが、毎日さまざまな出会いや学びがあり、非常に濃密な時間を過ごすことができました。困っているとすぐに話しかけてくださる台湾の方々、中興大学の学生との交流、台湾名物の夜市での食事、温暖な地域に育つ珍しい果物の収穫体験など、どれもが印象的で得難い経験として残っています。主体性を高め、自分の意見を持ち、伝えられるようになること。これを留学の目的の一つと考えていましたが、そこへ向かって成長した自分を感じています。留学を検討しているなら、積極的な姿勢を持って挑戦してください。



▲ 高雄の農園を訪れ、収穫体験をしました。特にナツメはみずみずしい味わいが印象的でした。



Private Photo



▲ 中興大学の学生と夜市でおすすめの食べ物を一緒に食べ、交流を深めました。

荒川さんの1日

7:00 朝食。地元の朝ごはん店で、サンドイッチを購入して食べました。

9:00 農園視察。グアバ・ナツメ農園での講義・収穫体験を行います。

12:00 昼食。農園近くの食堂で、円卓を囲んでローカルフードを体験します。

21:00 ゲストハウスで今日の学習メモを整理し、グループミーティングを行います。

CIEP (国際教育プログラム)



農学部
デザイン農学科
1年次参加
副島 結佳さん

学年を問わず参加でき、国内で国際交流を体験できる画期的で貴重な機会であると思い参加しました。2024年度は北海道で初めての開催。オホーツクキャンパスで講義を受けた後、北海道の農業を視察しました。最初は緊張から英語で話すことができなかったのですが、留学生の方々笑顔で話しかけてくださり、積極的にコミュニケーションを取ることができるようになっていました。夜はお互いの生活について話したり、母国語を教え合ったり、好きな歌を共有したり。有意義で楽しい時間を過ごしなが、さまざまな考え方に触れることができました。



Private Photo

一緒に昼食や夕食を買い、みんなで食べました。母国語を教えあったりして楽しかったです。



◀ 日本語を教えたり、ケニア語を教えてもらったり。私の好きな曲もおすすめしました。

副島さんの1日

9:00 3時間ほど、ワークショップの事前学習に取り組みました。

13:00 4時間にわたり、事前ワークショップを行いました。

18:00 ケニアの学生と一緒に夕食を買いに行き、みんなで楽しく食べました。お互いの生活や好きな曲を共有したり、有意義な時間を過ごしました。

長期交換留学



留学先
IPB 大学
(インドネシア)
国際食料情報学部
国際農業開発学科
4年次派遣
遠藤 ひかるさん

1年間海外で生活するという経験は、毎日が発見で、飽きることのない充実した時間でした。できる限り現地の人と同じ生活を送るよう心がけ、自分の中の常識にはとらわれず、その土地の常識を受け入れることで、新しい価値観や考え方を学ぶことができたと思います。イスラム文化に触れるのは初めてでしたが、学期間の休みに友人の実家で過ごし、その地域特有の家庭料理に触れたり、ラマダン後の大祭のお祭りに参加させてもらったり。また、行きつけの屋台では顔を覚えてもらって、お店の人と言葉を交わしながら食事をしたのも楽しい思い出です。こうした、旅行ではなく「生活」をすることで、その土地の食・文化・人との交流が体験ではなく「経験」へと変わります。周りの評価に振り回されることなく、自分が見たもの・経験したことで、その国を理解する姿勢を得ることもできました。1年間の留学でも4年間で卒業でき、学費免除の大学を選択したのでは費用の負担がなく海外留学を経験できたのは、農大の長期履修制度だから。私は強く「1年間」の留学をおすすめします！

1年間海外で生活するという経験は、毎日が発見で、飽きることのない充実した時間でした。できる限り現地の人と同じ生活を送るよう心がけ、自分の中の常識にはとらわれず、その土地の常識を受け入れることで、新しい価値観や考え方を学ぶことができたと思います。イスラム文化に触れるのは初めてでしたが、学期間の休みに友人の実家で過ごし、その地域特有の家庭料理に触れたり、ラマダン後の大祭のお祭りに参加させてもらったり。また、行きつけの屋台では顔を覚えてもらって、お店の人と言葉を交わしながら食事をしたのも楽しい思い出です。こうした、旅行ではなく「生活」をすることで、その土地の食・文化・人との交流が体験ではなく「経験」へと変わります。周りの評価に振り回されることなく、自分が見たもの・経験したことで、その国を理解する姿勢を得ることもできました。1年間の留学でも4年間で卒業でき、学費免除の大学を選択したのでは費用の負担がなく海外留学を経験できたのは、農大の長期履修制度だから。私は強く「1年間」の留学をおすすめします！



Private Photo

友人の実家でリアルなインドネシアの生活を体験してもらいました。朝から揚げ物が出てきたり、その地域特有の家庭料理と一緒に作らせてもらったり。



◀ 行きつけの屋台をつくり、現地の食生活を楽しみました。「また来たの!?日本にこれはあるの?」など、店主と顔見知りになってコミュニケーションを取る関係性がとても心地よく、好きな時間でした。

長期交換留学



留学先
ISARA
(フランス)
応用生物科学部
栄養科学科
4年次派遣
牧野 南美さん

留学を通して実感しているのは、自分の世界や選択肢が広がったことです。私が将来目指すのは安心・安全な食事を提供する管理栄養士。農大の授業で健康的な食生活について学び、趣味の時間で行っていた援農活動をきっかけに、農業と消費者のつながりを広めることが重要だと考えていました。そんな時、ヨーロッパで実施されていた「Farm to Fork」という政策に興味を持ち、持続可能な食品流通や都市農業などの知識をフランスのISARAで学べると知り、留学を決意しました。留学中は、日々の授業に加え、フランス語の学

習にも力を入れました。学校では英語を使用しますが、マルシェやフランス人家族とはフランス語で会話をします。たくさん会話したくて、積極的に質問したり話しかけたりしました。そのおかげか、相手とより親密な関係を築くことができ、フランスの素敵な側面もたくさん学ぶことができました! 農大の長期留学に参加できて本当に良かったと思っています。留学は一人の力だけでは成り立ちません。信頼できるたくさんの人に相談して、実りある留学生活が送れることを心より応援しています。



Private Photo

クリスマスのクッキー作り。Lyon International という制度を利用して、フランス人の家族と定期的にご飯会をしました。



◀ 援農活動を通じて日本で出会ったフランス人のお宅を訪問! その方の職場で農業体験をさせてもらいました。

グローバルキャリア研修

2025年度スケジュール(予定)

- ◆ 4~5月 2024年度渡航者 報告会
- ◆ 7月3・4日 2025年度 募集説明会
- ◆ 8~9月 選考

- ◆ 10月頃 渡航者決定
- ◆ 11~1月 就業先マッチング面談、事前研修
- ◆ 2026年2月 現地渡航

※詳細は農大キャリアナビ「お知らせ」に掲載いたします。ご不明点はキャリアセンターまでお問い合わせください!

